

本ニュースリリースは、同日 14:00 に、文部科学記者会、科学記者会に配布しております。

2010年9月3日

報道関係各位

社団法人日本能率協会
 学校経営支援センター

「第2回 大学教育力向上に関する調査」結果の発表(速報)

全国的に教育力向上のための各種取組みが進展
 学生への働きかけは効果を上げる一方、
 教員・職員の資質向上施策には苦慮
 学習ポートフォリオの重要度が高まる

社団法人日本能率協会(会長:山口範雄、JMA)と大学行政管理学会の大学経営評価指標研究会は、大学の教育力を単に学力や専門教育に限定せず、『社会に認められる人材を輩出する』という視点で、この6月、全国の大学を対象に標記第2回のアンケート調査を行い、国公私立403大学から回答を得た(回収率54.8%)。本調査から、日本の大学における教育力向上に関する各種施策の「実施度」「機能度」「重要度」の把握と、第1回調査(2007年6月)との対比の中で取組み進展度を明らかにするとともに、国公私立の設置形態や学生規模別に特徴を探った。

調査の結果、各種施策の実施度平均点は、前回の1.97点から2.10点(3点満点)へと向上しており、各大学が教育力向上に取り組んでいることが伺える。とりわけ「高校との連携授業」や「自学に関する講義・自校教育」の実施度が大幅に高まっている。

また、学生に直接働きかける施策(「合宿セミナー」や「自学に関する講義・自校教育」等)の機能度は高い一方、教員への働きかけや職員の資質向上については、各施策の実施度は高いものの、あまり効果が上がっていない状況がみられた。

今後の取組施策としては、「学習ポートフォリオ、学習カルテ等による学習状況の把握」を重視する大学が14.8%(前回)から31.8%へと大幅に増加した。大学の設置形態別にみると、国立大学では「意欲や能力のある学生への経済的支援」を挙げる割合が多く、私立大学では、「入学前学習プログラム」を重視する割合が増加した。

「第2回 大学教育力向上に関する調査」の概要 (第1回調査は2007年に実施)

調査対象 : 学士課程を対象に、当該課程を持つ全国の全大学(735大学) 学長宛に送付
 調査方法 : 郵送アンケート方式
 調査期間 : 2010年6月11日~8月15日
 有効回答数 : 403大学(国立56 公立47 私立298 株式会社立1)
 有効回収率 : 54.8%

本調査結果は、9月4日~5日に開催される「大学行政管理学会 第14回定期総会・研究集会」にて発表予定

【本件に関するお問い合わせ先】

社団法人 日本能率協会 総合推進ユニット 広報グループ
 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22
 担当: 大和、斎藤 TEL:(03)3434-8620 / FAX:(03)3433-0269

《本調査の視点》

本調査は、教育力を単に学力や専門教育に限定せず、『社会に認められる人材を輩出する』という視点から、大学の教育力向上のための取組み実態を明らかにするもの。2007年6月の第1回調査から3年を経て、取組み状況の変化・進展を把握する。

実態把握にあたっては、入学前教育、専門教育等の14の教育力分野87教育力向上施策(下表)を設定し、「実施度」「機能度」「重要度」を調査している。

また、87施策には含まないが、今後の進展が見込まれる12の新たな教育力向上施策についても、「実施度」と「今後の取組意向」を調査した。

14分野	87教育力向上施策		
入学前教育	高校との連携授業 入学前学習プログラム		
初年次教育	総合オリエンテーション 自学に関する講義・自校教育 基礎演習(初年次ゼミ) 合宿セミナー 基礎学力の把握 リメディアル教育 クラス担任制度		
	教養教育	教養教育の位置づけ明確化 教養教育を支える運営組織等	
	情報化教育	情報スキル教育 情報倫理教育 情報化教育を支える運営組織等 情報設備等利用環境の整備	
	語学教育 国際化教育	語学習得のための海外派遣制度 教養・専門科目習得のための海外派遣制度 留学生受入制度 習熟度別教育 少人数語学教育(15人以下) 国際理解教育の実践 「語学」の資格支援プログラム 国際化教育を支えるための運営組織等 語学教育を支えるための運営組織等	
		専門教育	履修すべき専門科目群の明確化 フィールドワーク、インターンシップ、PBL ゼミナール制度 外部講師の積極活用
		資格教育	国家資格等取得支援プログラム
		キャリア教育	キャリア形成科目 就業体験 キャリア開発支援 就職試験対策 業種/業界を知るための講演・研究会・プログラム キャリア開発を支える運営組織等
学習支援			学習ポートフォリオ、学習カルテ等による学習状況の把握 TA等の活用による授業支援 チューター、学習アドバイザーによる学習支援 オフィスアワー制度による学習相談 意欲や能力のある学生への経済的支援(表彰・奨学金等) 学習支援を支える運営組織等

14分野	87教育力向上施策				
正課外活動	学生自身による学校紹介活動 留学生の学生生活支援活動 クラブ・サークル支援 サークル顧問指導者制度 ステューデントエンプロイヤー制度(学生雇用制度) ボランティア支援制度 正課外活動での学生プロジェクト支援制度 正課外活動での学生表彰制度 環境マネジメントへの理解の促進				
	FD 授業力向上	授業公開 授業評価 FD活動の報告/共有活動 FD活動支援制度 全学的なFD推進・支援組織と組織的検証 インストラクション(講義方法)教育 TA研修の実施 成績の評価基準の明確化 成績の規準化 FDハンドブックの作成・配布			
		教育環境整備	メンタルケア キャンパスハラスメント防止体制 障がい学生の支援 学習図書館(室)機能の充実 ノーマライゼーションに対応した教育施設の整備 webによるシラバス公開 シラバスの記入項目の規格化(シラバスの質保証) eラーニングの実施 学生の授業理解度を授業時間内に即時に把握できるツール		
			教育システム	GPA制度 単位上限設定制度 スクリーン(進級制限)制度 学習時間の保証 大学間連携による単位取得	
				教育力向上 マネジメント システム	カリキュラム学生満足度調査 学生生活満足度調査 自主的な外部評価制度 大学自己点検評価と認証評価による改善の推進 教育力を重視した教員採用プロセス・制度の確立 経営戦略の策定・実施 卒業生による大学教育力調査 企業による大学教育力調査 教員の質向上を図るための仕組み・制度 社会的公正性および教育力向上への倫理綱領等の作成 副学長、学長補佐制度等による教学責任体制の強化 各種経営・教育情報の指標化・データ化・見える化による分析・改善 教育を支える職員の能力向上の継続的実践

*は、第2回調査での新規設定項目

実施度

学内での実施状況を下記から選択、点数化

選択肢	得点
未実施	0
半数未満の学部で実施または試行中	1
半数以上の学部で実施	2
全学部で実施	3
無回答	対象外

機能度

主観的機能度を下記から選択、点数化

選択肢	得点
未実施のため回答不可	対象外
機能していない	1
あまり機能していない	2
機能しているが改善点が多い	3
有効に機能している	4
他大学の模範となるレベルにある	5
無回答	対象外

調査結果の概要と資料

1. 大学全体としての取組み進展度

施策の実施度平均点は、前回の 1.97 点から 2.10 点（3 点満点）へと向上しており、各大学が教育力向上に取り組んでいることが伺える。

大学全体として取組みが進展している分野は、「資格教育」「情報化教育」「専門教育」等、主に講座開設や試験対策などの分野。

大学全体として取組みが後れている分野は、「教育力向上マネジメントシステム」「FD・授業力向上」「学習支援」などの教育力向上のためのマネジメントの仕組みづくり項目。

実施度は高いが機能度の低い施策には、「授業評価」等の教員への働きかけや職員の資質向上に関する項目が多い。

逆に、実施度は低いものの機能度の高い施策には、「合宿セミナー」や「自学に関する講義・自校教育」等、学生に直接働きかける項目が多い。

表1 大学全体としての教育分野別の取組み進展度

分野	実施度平均点(3点満点)		分野	機能度平均点(5点満点)	
	第1回	第2回		第1回	第2回
資格教育	2.68	2.79	資格教育	3.77	3.75
情報化教育	2.71	2.76	専門教育	3.67	3.73
専門教育	2.61	2.68	初年次教育	3.65	3.70
キャリア教育	2.44	2.60	情報化教育	3.62	3.70
教養教育	2.19	2.39	キャリア教育	3.66	3.67
入学前教育	1.85	2.38	教育環境整備	3.57	3.60
初年次教育	1.94	2.24	正課外活動	3.53	3.59
教育環境整備	2.43	2.22	入学前教育	3.46	3.54
教育システム	1.83	2.09	語学教育・国際化教育	3.49	3.54
正課外活動	1.77	1.95	教養教育	3.45	3.53
語学教育・国際化教育	1.93	1.91	学習支援	3.45	3.50
学習支援	1.72	1.90	教育システム	3.53	3.49
教育力向上マネジメントシステム	1.57	1.77	教育力向上マネジメントシステム	3.39	3.46
FD・授業力向上	1.63	1.76	FD・授業力向上	3.31	3.40
全施策平均	1.97	2.10	全施策平均	3.50	3.55

表 2 8 7 施策の実施度・機能度順位

	実施度	機能度
1位 ～ 30位	<p>1位～30位</p> <p>ゼミナール制度 情報設備等利用環境の整備 総合オリエンテーション 国家資格等取得支援プログラム 情報スキル教育 外部講師の積極活用 業種ノ業界を知るための講演・研究会・プログラム ワールドワーク、インターンシップ、PBL 就職試験対策 学習図書館(室)機能の充実 メンタルケア クラブ・サークル支援 就業体験 意欲や能力のある学生への経済的支援(表彰・奨学金等) シラバスの記入項目の規格化(シラバスの質保証) 情報化教育を支える運営組織等 教育力を重視した教員採用プロセス・制度の確立 学習時間の保証 キャンパスハラスメント防止体制</p>	<p>1位～30位</p> <p>クラス担任制度 成績の評価基準の明確化 履修すべき専門科目群の明確化 キャリア開発支援 大学自己点検評価と認証評価による改善の推進</p>
31位 ～ 60位	<p>31位～60位</p> <p>合宿セミナー webによるシラバス公開 基礎演習(初年次ゼミ) 正課外活動での学生表彰制度 学生自身による学校紹介活動 キャリア開発を支える運営組織等 副学長、学長補佐制度等による教学責任体制の強化</p>	<p>31位～60位</p> <p>基礎学力の把握 単位上限設定制度 TA等の活用による授業支援 キャリア形成科目 国際化教育を支えるための運営組織等 ステューデントエンプロイー制度(学生雇用制度) 国際理解教育の実践 高校との連携授業 習熟度別教育 情報倫理教育 教養・専門科目習得のための海外派遣制度 経営戦略の策定・実施 語学習得のための海外派遣制度 教養教育を支える運営組織等 教養教育の位置づけ明確化 入学前学習プログラム 留学生受入制度 「語学」の資格支援プログラム 社会的公正性および教育力向上への倫理綱領等の作成 学生生活満足度調査 サークル顧問指導者制度 ポランティア支援制度</p>
61位 ～ 87位	<p>61位～87位</p> <p>スクリーン(進級制限)制度 自主的な外部評価制度 自学に関する講義・自校教育</p>	<p>61位～87位</p> <p>正課外活動での学生プロジェクト支援制度 留学生の学生生活支援活動 少人数語学教育(15人以下) 障がい学生の支援 語学教育を支えるための運営組織等 学習支援を支える運営組織等 チューター、学習アドバイザーによる学習支援 FDハンドブックの作成・配布 TA研修の実施 リメディアル教育 環境マネジメントへの理解の促進 カリキュラム学生満足度調査 GPA制度 インストラクション(講義方法)教育 成績の規準化 FD活動支援制度 企業による大学教育力調査 卒業生による大学教育力調査 eラーニングの実施 各種経営・教育情報の指標化・データ化・見える化による分析・改善 学習サポートオリオ、学習カルテ等による学習状況の把握 教員の質向上を図るための仕組み・制度 授業公開 学生の授業理解度を授業時間内に即時に把握できるツール</p>

実施していない
学部での実施度が低い

実施度

全学部で実施
多くの学部で実施

機能している

機能度

機能していない

(参考1) 前回調査から実施度の進捗が大きかった施策

- ・第1回調査を実施した2007年6月からの3年間で、「高校との連携授業」の実施度が大幅に高まっている。

表3 前回調査から実施度が上がった上位項目

分野	施策名称	実施度平均点(3点満点)	
		第1回(2007年)	第2回(2010年)
入学前教育	高校との連携授業	1.83	2.52
教育力向上マネジメントシステム	社会的公正性および教育力向上への倫理綱領等の作成	1.51	2.08
初年次教育	自学に関する講義・自校教育	1.23	1.76
教育システム	GPA制度	1.26	1.75
教育力向上マネジメントシステム	教員の質向上を図るための仕組み・制度	0.99	1.43
FD・授業力向上	FD活動の報告/共有活動	2.11	2.55
正課外活動	ボランティア支援制度	1.33	1.76
FD・授業力向上	授業公開	1.30	1.72
学習支援	学習支援を支える運営組織等	0.99	1.38
学習支援	学習ポートフォリオ、学習カルテ等による学習状況の把握	0.48	0.88

(参考2) 87教育施策のうち、実施度の下位10施策

- ・全体的に実施度は向上しているが、教育力を評価する仕組みである「教育力向上マネジメントシステム」、具体的な改善手段である「FD・授業力向上」の分野が下位施策の多くを占めている点には変化が見られない。

表4 教育力向上施策 実施度下位一覧(3点満点)

分野	施策名称	実施度平均点(3点満点)		全学部での実施率	
		第1回	第2回	第1回	第2回
教育力向上 マネジメントシステム	各種経営・教育情報の指標化・データ化・見える化による分析・改善	-	1.29	-	40.2%
FD・授業力向上	FD活動支援制度	1.03	1.14	31.5%	35.5%
教育力向上 マネジメントシステム	自主的な外部評価制度	1.07	1.08	33.0%	33.5%
学習支援	学習ポートフォリオ、学習カルテ等による学習状況の把握	0.48	0.88	11.1%	19.6%
FD・授業力向上	インストラクション(講義方法)教育	0.64	0.82	18.5%	24.3%
FD・授業力向上	TA研修の実施	-	0.78	-	20.6%
教育力向上 マネジメントシステム	卒業生による大学教育力調査	0.60	0.69	17.6%	20.1%
FD・授業力向上	FDハンドブックの作成・配布	0.48	0.65	14.2%	20.1%
教育力向上 マネジメントシステム	企業による大学教育力調査	0.37	0.51	10.8%	15.4%
教育環境整備	学生の授業理解度を授業時間内に即時に把握できるツール	-	0.37	-	7.4%

2. 教育力向上に向けた今後の重要度

今後、自学において重要と思われる教育力向上施策として、「学習ポートフォリオ、学習カルテ等による学習状況の把握」が、前回の23位から4位へと大幅に順位が上がり、重要と考える割合も14.8%から31.8%に増加した。

一方で、実施度は0.9点(3点満点中)と低く、まさにこれから新たに取組む施策として重視されている。

各大学の置かれている状況や規模などで重要とされる施策が異なるため、50%を超えるような全大学共通の重要施策は見られない。

表5 教育力向上施策 重要度上位一覧

第1回 重要度上位(全体)				第2回 重要度上位(全体)			
順位	分野	施策名称	割合	順位	分野	施策名称	割合
1位	FD・授業力向上	全学的なFD推進・支援組織と組織的検証	41.7%	1位	FD・授業力向上	全学的なFD推進・支援組織と組織的検証	45.4%
2位	FD・授業力向上	授業評価	33.3%	2位	初年次教育	基礎演習(初年次ゼミ)	39.0%
3位	教育力向上 マネジメントシステム	大学自己点検評価と認証評価による改善の推進	32.1%	3位	教育力向上 マネジメントシステム	大学自己点検評価と認証評価による改善の推進	32.3%
3位	教育力向上 マネジメントシステム	教員の質向上を図るための仕組み・制度	32.1%	4位	学習支援	学習ポートフォリオ、学習カルテ等による学習状況の把握	31.8%
5位	初年次教育	基礎演習(初年次ゼミ)	31.8%	5位	教育力向上 マネジメントシステム	教員の質向上を図るための仕組み・制度	31.0%
6位	教育環境整備	メンタルケア	29.9%	6位	教育環境整備	メンタルケア	30.5%
7位	キャリア教育	キャリア開発支援	25.6%	7位	キャリア教育	キャリア形成科目	29.3%
8位	学習支援	学習支援を支える運営組織等	23.8%	8位	キャリア教育	キャリア開発支援	28.3%
9位	教養教育	教養教育の位置づけ明確化	22.8%	9位	FD・授業力向上	授業評価	27.0%
10位	キャリア教育	キャリア形成科目	22.5%	10位	教養教育	教養教育の位置づけ明確化	26.8%

濃い網掛けは、割合が5%以上増加した項目。斜線の網掛けは、割合が5%以上減少した項目。

本設問は、87教育力向上施策について、自学で重要と思われるもの上位10施策に つけた複数回答結果。

3 . 設置形態別の取組み進展度と重視する施策

多くの分野・施策の実施度、機能度の評価で、国立大学が私立大学を上回っており、積極的な取組みがなされているといえる。この傾向は第1回調査から変わっていない。

特に国立大学では、他の設置形態と比べて、外部評価制度や評価のために必要となる調査等、マネジメントシステムの実施度が高い。

国立大学で、今後、重視する施策として、「意欲や能力のある学生への経済的支援（表彰・奨学金等）」の割合が大幅に増えている。（第1回調査：14.0% 第2回調査：30.4%）

私立大学では、「入学前学習プログラム」の実施度が高くなっている。

また、今後、重視する施策としても「入学前学習プログラム」が上位に挙がっている。

図1 設置形態別にみる実施度の高い教育施策数

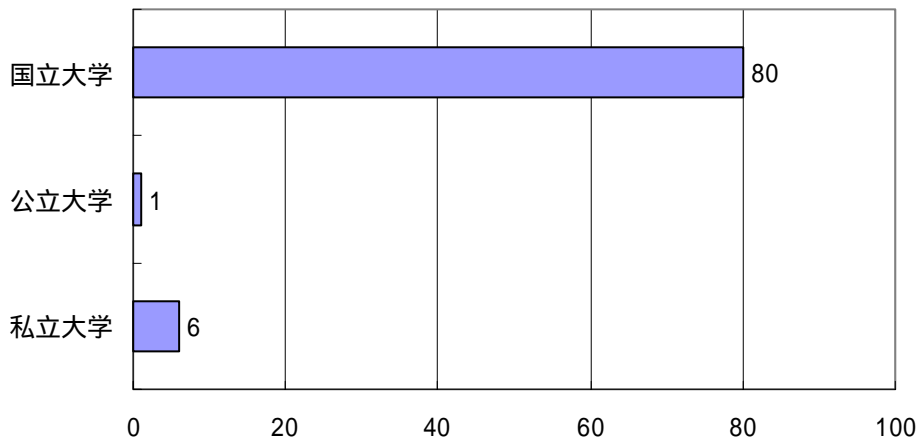


表6 設置形態によって実施度のバラツキが大きい施策（3点満点）

分野	施策名称	全体	国立	公立	私立
教育力向上 マネジメントシステム	自主的な外部評価制度	1.08	2.50	1.46	0.75
教育力向上 マネジメントシステム	卒業生による大学教育力調査	0.69	2.00	0.85	0.42
正課外活動	留学生の学生生活支援活動	1.63	2.86	1.59	1.40
教育力向上 マネジメントシステム	教員の質向上を図るための仕組み・制度	1.43	2.54	1.87	1.15
教育力向上 マネジメントシステム	カリキュラム学生満足度調査	1.37	2.52	1.55	1.13
FD授業力向上	TA研修の実施	0.78	1.93	0.76	0.56
教育環境整備	障がい学生の支援	1.63	2.36	1.11	1.58
入学前教育	入学前学習プログラム	2.25	1.30	1.79	2.50
教育力向上 マネジメントシステム	企業による大学教育力調査	0.51	1.54	0.41	0.34
語学教育 国際化教育	語学教育を支援するための運営組織等	1.49	2.48	1.41	1.32

■ 実施度が最も高い

表7 教育力向上施策 重要度上位一覧(国立大学)

第1回 重要度上位(国立)

順位	分野	施策名称	割合
1位	FD・授業力向上	全学的なFD推進・支援組織と組織的検証	48.0%
2位	教育力向上マネジメントシステム	教員の質向上を図るための仕組み・制度	40.0%
3位	初年次教育	基礎演習(初年次ゼミ)	36.0%
4位	教育力向上マネジメントシステム	大学自己点検評価と認証評価による改善の推進	34.0%
5位	教養教育	教養教育の位置づけ明確化	32.0%
5位	教養教育	教養教育を支える運営組織等	32.0%
5位	キャリア教育	キャリア形成科目	32.0%
8位	教育環境整備	メンタルケア	28.0%
9位	入学前教育	高校との連携授業	24.0%
9位	FD・授業力向上	授業評価	24.0%

第2回 重要度上位(国立)

順位	分野	施策名称	割合
1位	FD・授業力向上	全学的なFD推進・支援組織と組織的検証	50.0%
2位	教育力向上マネジメントシステム	教員の質向上を図るための仕組み・制度	46.4%
3位	教養教育	教養教育の位置づけ明確化	41.1%
4位	学習支援	学習ポートフォリオ、学習カルテ等による学習状況の把握	39.3%
5位	教育環境整備	メンタルケア	37.5%
6位	初年次教育	基礎演習(初年次ゼミ)	35.7%
7位	キャリア教育	キャリア形成科目	32.1%
8位	専門教育	履修すべき専門科目群の明確化	30.4%
8位	学習支援	意欲や能力のある学生への経済的支援(表彰・奨学金等)	30.4%
8位	FD・授業力向上	授業評価	30.4%

網掛けは、割合が5%以上増加した項目。

本設問は、87教育力向上施策について、自学で重要と思われるもの上位10施策に つけた複数回答結果。

表8 教育力向上施策 重要度上位一覧(私立大学)

第1回 重要度上位(私立)

順位	分野	施策名称	割合
1位	FD・授業力向上	全学的なFD推進・支援組織と組織的検証	40.0%
2位	FD・授業力向上	授業評価	35.7%
3位	教育力向上マネジメントシステム	大学自己点検評価と認証評価による改善の推進	32.2%
4位	初年次教育	基礎演習(初年次ゼミ)	31.7%
5位	教育力向上マネジメントシステム	教員の質向上を図るための仕組み・制度	31.3%
6位	教育環境整備	メンタルケア	29.1%
7位	キャリア教育	キャリア開発支援	27.8%
8位	学習支援	学習支援を支える運営組織等	27.4%
9位	初年次教育	リメディアル教育	25.7%
10位	教育力向上マネジメントシステム	経営戦略の策定・実施	23.0%

第2回 重要度上位(私立)

順位	分野	施策名称	割合
1位	FD・授業力向上	全学的なFD推進・支援組織と組織的検証	45.6%
2位	初年次教育	基礎演習(初年次ゼミ)	40.3%
3位	教育力向上マネジメントシステム	大学自己点検評価と認証評価による改善の推進	33.6%
4位	学習支援	学習ポートフォリオ、学習カルテ等による学習状況の把握	31.9%
5位	教育環境整備	メンタルケア	30.2%
6位	キャリア教育	キャリア開発支援	29.9%
7位	キャリア教育	キャリア形成科目	28.9%
8位	教育力向上マネジメントシステム	教員の質向上を図るための仕組み・制度	28.5%
9位	入学前教育	入学前学習プログラム	25.5%
10位	FD・授業力向上	授業評価	24.2%

濃い網掛けは、割合が5%以上増加した項目。斜線の網掛けは、割合が5%以上減少した項目。

本設問は、87教育力向上施策について、自学で重要と思われるもの上位10施策に つけた複数回答結果。

4 . 学生収容定員別の取組み進展度と重視する施策

学生規模によって取組みにバラツキが見られ、学生収容定員数 5,000 人～20,000 人未満規模での実施度が高い。

今後、重視する施策は、1,000 人未満の小規模大学では、きめ細かな対応を可能にする「クラス担任制度」が上位に入っている。

一方、10,000 人以上の大規模大学では、「意欲や能力のある学生への経済的支援（表彰・奨学金等）」が重視されている。

図 2 学生収容定員別にみる実施度の高い施策数

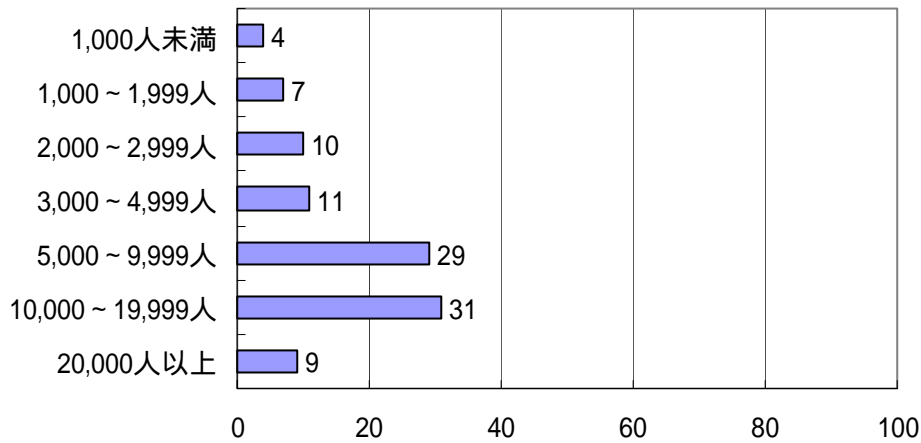


表 9 学生収容定員別に重視する施策の特徴

学生収容定員	重視する教育力向上施策のうち、特徴的な項目
1,000人未満	・国家資格等取得支援プログラム ・リメディアル教育 ・クラス担任制度
1,000人～1,999人	・履修すべき専門科目群の明確化 ・入学前学習プログラム
2,000人～2,999人	なし(全体傾向と同じ)
3,000人～4,999人	・履修すべき専門科目群の明確化
5,000人～9,999人	・学習時間の保証
10,000人～19,999人	・入学前学習プログラム ・ゼミナール制度 ・意欲や能力のある学生への経済的支援(表彰・奨学金等)
20,000人以上	・意欲や能力のある学生への経済的支援(表彰・奨学金等) ・GPA制度 ・留学生受入制度

5. 新たな取組みと今後の実施意向

87施策以外で、今後のトレンドとして進展が考えられる施策として、学士力、社会人基礎力の要素を反映したカリキュラムや、PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）の要素を入れたカリキュラムの実施意向が高い。

「学生同士のピアサポート」「教員・職員・学生によるメンター制度」を未実施の大学の4割以上で、今後検討すると回答。今後、学生一人ひとりに対するきめ細かな支援体制の整備が進むものと考えられる。

表10 新たな取組みの実施状況と今後の意向

施策名称	実施度平均点 (3点満点)	全学部での 実施率	未実施大学における 今後の意向	
			今後検討	計画している
卒業論文(制作)の必修化	2.02	46.4%	22.4%	7.5%
学士力(文部科学省)の要素を明確にカリキュラムに反映することにより、学士課程の質の保証を明確にする試み	1.45	41.9%	61.9%	22.1%
社会人基礎力(経済産業省)の要素を明確にカリキュラムに反映することにより、学生の就業力、人間力の向上につなげる試み	0.98	26.3%	53.4%	13.4%
PBLの要素を取り入れたカリキュラム	0.90	18.1%	40.4%	3.2%
FD委員会や授業評価結果による指摘事項で改善対象となった授業について、施策・対策が講じられ改善がなされた授業科目数等の把握	0.85	23.8%	66.5%	5.0%
学生同士のピアサポート	0.84	20.8%	52.8%	2.4%
レイト・スペシャリゼーション(専攻の選択を入学後に決定)	0.82	15.6%	11.8%	4.4%
学生への食育活動	0.80	19.4%	27.2%	2.4%
教員、職員、学生によるメンター制度	0.72	19.9%	42.3%	2.1%
専門教育の評価(JABEE等専門分野等の評価)を受審することにより、専門教育の質の向上につなげるような試み	0.36	4.0%	19.9%	3.4%
学部・大学院5年プログラム	0.26	4.5%	13.1%	1.7%

分母には「本学には該当しないため回答不可」も含む

表11 大学コンソーシアム、ネットワーク等への参加率

施策名称	参加している	参加していない	未参加大学における 今後の意向	
			今後検討	計画している
大学コンソーシアム、ネットワーク等への参加	80.1%	17.1%	36.2%	8.7%

《回答大学一覧(50音順)》

- 愛知学院大学
愛知教育大学
愛知県立大学
愛知工科大学
愛知産業大学
愛知大学
愛知東邦大学
愛知文教大学
会津大学
青森県立保健大学
青山学院大学
秋田看護福祉大学
秋田県立大学
秋田大学
麻布大学
跡見学園女子大学
石川県立看護大学
石巻専修大学
茨城キリスト教大学
茨城県立医療大学
茨城大学
いわき明星大学
岩手県立大学
植草学園大学
上野学園大学
宇都宮共和大学
宇都宮大学
奥羽大学
桜花学園大学
追手門学院大学
桜美林大学
大分県立看護科学大学
大分大学
大阪青山大学
大阪学院大学
大阪経済大学
大阪工業大学
大阪歯科大学
大阪商業大学
大阪市立大学
大阪総合保育大学
大阪体育大学
大阪大学
大阪府立大学
大阪保健医療大学
大谷大学
岡山県立大学
岡山大学
岡山理科大学
沖縄キリスト教学院大学
沖縄県立芸術大学
小樽商科大学
お茶の水女子大学
尾道大学
香川県立保健医療大学
香川大学
鹿児島純心女子大学
鹿児島大学
神奈川県立保健福祉大学
神奈川工科大学
神奈川大学
金沢医科大学
金沢星陵大学
金沢美術工芸大学
鹿屋体育大学
川崎医科大学
川崎医療福祉大学
関西医科大学
関西医療大学
関西外国語大学
関西国際大学
関西大学
関西福祉科学大学
関西福祉大学
関西学院大学
神田外語大学
関東学院大学
北九州市立大学
北里大学
北見工業大学
吉備国際大学
- 岐阜医療科学大学
岐阜経済大学
岐阜女子大学
岐阜薬科大学
九州栄養福祉大学
九州共立大学
九州工業大学
九州国際大学
九州産業大学
九州歯科大学
九州女子大学
九州ルーテル学院大学
共愛学園前橋国際大学
京都外国語大学
京都学園大学
京都光華女子大学
京都工芸繊維大学
京都産業大学
京都女子大学
京都市立芸術大学
京都精華大学
京都ノートルダム女子大学
京都薬科大学
共立女子大学
杏林大学
近畿大学
金城大学
釧路公立大学
国立音楽大学
熊本学園大学
熊本県立大学
熊本保健科学大学
倉敷芸術科学大学
くらしき作陽大学
群馬医療福祉大学
群馬大学
慶應義塾大学
恵泉学園大学
敬和学園大学
皇學館大学
高知工科大学
高知大学
甲南大学
神戸海星女子学院大学
神戸学院大学
神戸芸術工科大学
神戸夙川学院大学
神戸松蔭女子学院大学
神戸女学院大学
神戸女子大学
神戸大学
神戸薬科大学
神戸山手大学
公立ほこだて未来大学
郡山女子大学
國學院大學
国際教養大学
国際基督教大学
駒沢女子大学
駒澤大学
埼玉県立大学
埼玉工業大学
埼玉大学
佐賀大学
作新学院大学
札幌医科大学
札幌大谷大学
札幌学院大学
札幌国際大学
札幌大学
札幌学院大学
三育学院大学
山陽学園大学
滋賀医科大学
志學館大学
滋賀県立大学
滋賀大学
静岡県立大学
静岡産業大学
静岡大学
静岡福祉大学
静岡文化芸術大学
- 静岡理工科大学
実践女子大学
四天王寺大学
島根県立大学
島根大学
下関市立大学
就実大学
種智院大学
順天堂大学
尚綱学院大学
城西大学
上智大学
昭和音楽大学
昭和女子大学
昭和薬科大学
女子美術大学
白百合女子大学
仁愛大学
信州大学
杉野服飾大学
福山学園大学
鈴鹿医療科学大学
駿河台大学
成安造形大学
聖学院大学
成蹊大学
星槎大学
聖心女子大学
清泉女学院大学
西南学院大学
聖隷クリストファー大学
摂南大学
仙台白百合女子大学
仙台大学
千里金蘭大学
相愛大学
園田学園女子大学
第一工業大学
大正大学
大東文化大学
高岡法科大学
高崎経済大学
高崎健康福祉大学
高松大学
玉川大学
千歳科学技術大学
千葉科学大学
千葉工業大学
千葉大学
中央大学
中京大学
筑波学院大学
筑波大学
津田塾大学
都留文科大学
テンプルハリウッド大学
電気通信大学
天理大学
桐蔭横浜大学
東京有明医療大学
東京医科歯科大学
東京家政学院大学
東京家政大学
東京経済大学
東京藝術大学
東京工芸大学
東京国際大学
東京慈恵会医科大学
東京情報大学
東京聖栄大学
東京電機大学
首都大学東京
東京農業大学
東京未来大学
東京薬科大学
東京理科大学
同志社女子大学
同志社大学
道都大学
東邦大学
同朋大学
- 東北学院大学
東北生活文化大学
東北大学
東北文化学園大学
東洋英和女学院大学
常磐大学
徳島大学
徳山大学
常葉学園大学
獨協医科大学
獨協大学
鳥取環境大学
鳥取大学
苫小牧駒澤大学
富山国際大学
富山大学
豊橋技術科学大学
豊橋創造大学
長岡技術科学大学
長岡造形大学
長岡大学
長崎県立大学
長崎国際大学
長崎総合科学大学
長崎大学
長浜バイオ大学
中村学園大学
名古屋外国語大学
名古屋学院大学
名古屋工業大学
名古屋産業大学
名古屋女子大学
名古屋市立大学
名古屋大学
名古屋文理大学
奈良教育大学
奈良県立医科大学
奈良女子大学
奈良大学
鳴門教育大学
新潟医療福祉大学
新潟経営大学
新潟県立看護大学
新潟県立大学
新潟工科大学
新潟大学
新見公立大学
西九州大学
二松学舎大学
日本社会事業大学
日本女子体育大学
日本女子大学
日本赤十字秋田看護大学
日本赤十字看護大学
日本赤十字九州国際看護大学
日本赤十字広島看護大学
日本赤十字北海道看護大学
日本体育大学
日本大学
日本福祉大学
日本文理大学
人間環境大学
ノートルダム清心女子大学
梅光学院大学
白鷗大学
白梅学園大学
函館大学
八戸工業大学
浜松大学
東日本国際大学
美作大学
比治山大学
一橋大学
兵庫教育大学
兵庫大学
弘前医療福祉大学
弘前学院大学
弘前大学
広島経済大学
県立広島大学
広島国際大学
- 広島修道大学
広島女学院大学
広島大学
広島都市学園大学
広島文化学園大学
広島文教女子大学
びわこ学院大学
びわこ成蹊スポーツ大学
フェリス学院大学
福井工業大学
福井大学
福岡教育大学
福岡工業大学
福岡歯科大学
福岡女学院看護大学
福岡女学院大学
福岡大学
福岡大学
富士常葉大学
佛教大学
文京学院大学
文教大学
別府大学
法政大学
北翔大学
北星学園大学
北陸大学
保健医療経営大学
北海商科大学
北海道医療大学
北海道教育大学
松本歯科大学
松本大学
三重大学
南九州大学
身延山大学
宮城学院女子大学
宮城教育大学
宮城大学
宮崎国際大学
武庫川女子大学
武蔵大学
武蔵野学院大学
明海大学
明治学院大学
明治国際医療大学
名城大学
明星大学
目白大学
桃山学院大学
森ノ宮医療大学
八洲学園大学
山形大学
山口県立大学
山口大学
山口東京理科大学
山口福祉文化大学
ヤマザキ学園大学
山梨学院大学
横浜市立大学
横浜薬科大学
四日市大学
四日市看護医療大学
酪農学園大学
立教大学
立正大学
立命館アジア太平洋大学
立命館大学
琉球大学
龍谷大学
流通科学大学
流通科学大学
了徳寺大学
ルーテル学院大学
麗澤大学
和歌山県立医科大学
和歌山大学
早稲田大学
和洋女子大学